

株式会社松屋アールアンドディ（証券コード：7317）

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

（2022年02月）



2022年3月期第3四半期実績：サマリー

- ・対前年同期比において、特需であったアイソレーションガウンの公募案件がなくなったことによる影響が大きい。
(前年同期アイソレーションガウン関連：売上高932百万円、営業利益216百万円)
- ・アイソレーションガウンを除いた既存事業（血压計腕帯・カーシート・エアバッグ）としては新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、**増収**となりました。
(既存事業売上高：前3Q 3,855百万円、当3Q 3,911百万円)
- ・ベトナムにおいてはコロナ対策規制の影響からは回復し、受注好調となっています（月次推移参照）。

	2021.3 3Q実績 (百万円)	2022.3 3Q実績 (百万円)	前期比
売上高	4,787	3,911	81.7%
売上総利益	1,117	845	75.7%
売上総利益率	23.3%	21.6%	△1.7
営業利益	579	204	35.2%
経常利益	535	228	42.6%
税金等調整前四半期純利益	535	111	20.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	458	71	15.5%
1株当たり四半期純利益（円）	88.71	13.57	15.3%

※収益認識会計基準を遡及適用

※株式分割後

2022年3月期第3四半期実績：セグメント別売上高&利益

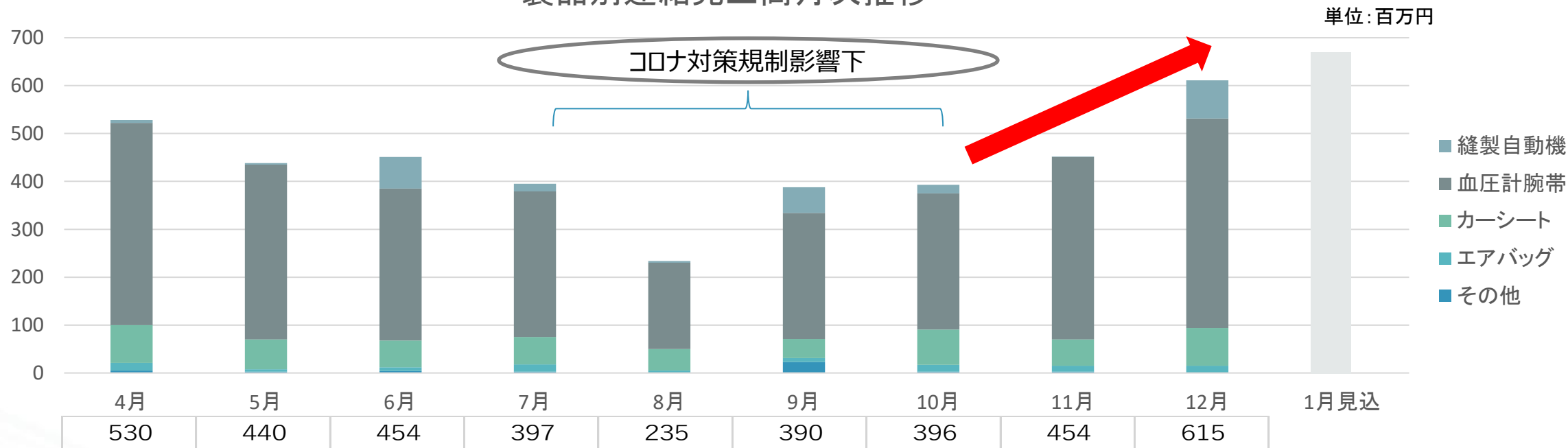
- ・縫製自動機事業においては前年同期に比べ小口の売上案件が多かったほか、研究開発費の増加が影響しています。
- ・縫製品事業においてはアイソレーションガウンの公募案件減少による影響で売上高・利益ともに減少しているものの、アイソレーションガウンを除いた既存事業は売上高増加となっています。
- ・本社費&調整費については新規事業開拓への投資のほか、固定資産に係る未実現利益の増加によるものとなります。

	2021.3 3Q実績 (百万円)	2022.3 3Q実績 (百万円)	前期比
売上高（セグメント間売上含む）	4,787	3,911	81.7%
縫製自動機事業	422	321	76.0%
縫製品事業	4,384	3,660	83.5%
調整額	△19	△70	—
セグメント利益又は損失（△）	579	204	35.2%
縫製自動機事業	△17	△69	—
縫製品事業	771	550	71.3%
本社費&調整額	△175	△277	—

2022年3月期第3四半期実績：月次推移

- ・ベトナムでのコロナ対策規制（10月15日まで）の影響からは既に脱却しております。
- ・1月以降についても受注は好調に推移する見通しとなります。

製品別連結売上高月次推移



連結営業利益 月次推移



注：上記営業利益には「新型コロナウイルス感染症対応による損失」を含めています。

Copyright©2022, Matsuya R&D Co., Ltd. All rights reserved.

2021年度（2022年3月期）業績予想

・2021年度（2022年3月期）の業績予想は下記の通り修正いたします。

前年度において特需として発生していたアイソレーションガウンの受注について、当年度においては前年度より受注は減少するものの、新型コロナウイルスの感染状況が収束していない状況から、一定の受注が見込まれるものとして予想しておりました。しかし、現状としては昨年度のような大口の公募案件もないことから、当年度においては受注が見込めないものとして売上高及び利益を修正しております。また、ベトナムにおける新型コロナウイルス感染症対応規制によるベトナム工場の稼働率が大きく減少したことから、当初予想していた売上高及び利益を修正しております。

・配当予想につきましては、当初予想から変更しておりません。

	2022.3 公表ベース予想 (百万円)	最新予想 (百万円)	参考 2021年3月期 (アイソレーションガウン除く)
売上高	7,186	5,600	5,206
売上総利益	1,620	1,200	1,061
売上総利益率	22.5%	21.4%	20.4%
営業利益	724	330	277
経常利益	707	360	
親会社株主に帰属する当期純利益	536	150	
配当予想	5円	5円	

ベトナムの現状について

1. オミクロン株の影響でベトナム子会社の所在地であるドンナイ省においては感染者数は大きく減少しています。（**10月15日感染者数586人→1月31日8人。**）
2. **弊社ベトナム子会社においては従業員全員に対して3回目のワクチン接種が完了**しており、国・地域においても感染対策に対する意識が非常に高くなっております。
3. 万が一、工場において新型コロナウイルスの感染者が発生した場合は、工場は消毒した上で、濃厚接触者を特定し、2週間の隔離措置が取られますが、工場自体の稼働を止めるような措置はありません。

本資料の取扱について

本資料には、将来に関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性、適切性等については当社は何ら検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。